

らくよう

楽しく 陽るく 荘全体で
お年寄りの人権を守ります。

その方らしい生活が出来るよう応援します。

最後までお世話させていただき準備が来ています。

特別養護老人ホーム楽陽荘 平成30年 1月号 NO. 293

<クリスマス・忘年会>

今年最後のお楽しみ行事のクリスマス会をお年寄りの皆さんと職員で行いました。職員による出し物の歌や踊り、お年寄りと一緒に音楽に合わせての手遊び等、笑顔あふれる楽しい時間を過ごす事ができました。夕食はよせ鍋を囲んで、お酒も入って・食べて・喋って・笑っての賑やかな忘年会でした。



<渡辺要 歌謡ショー>

日本クラウン所属の歌手「渡辺要」様が来てくれました。お年寄りの皆さんの馴染みの春日八郎や三橋美智也の歌を楽しいおしゃべりを交えながら声量豊かに歌ってくれました。後半は職員のリクエストによる北島三郎メドレーで会場は手拍子や掛け声でおおいに盛り上がりました。歌と笑いのショーで元気になり若返った一日となりました。



<夜間想定避難訓練>

夜間想定避難訓練を行いました。夜間帯は職員も少なく、いざという時には冷静な判断と行動がより強く求められます。継続して訓練を重ねる事により、職員の防災意識の強化及びお年寄りの安全確保に努めて参ります。日頃から「絶対に火を出さない」と各自で注意する事が最優先です。

<柞田小学校5年生ふれあい体験>

柞田小学校5年生がクラス毎にふれあい体験に来てくれ、園内は笑顔と楽しそうな声でいっぱいになりました。体験後「心に残ったこと・考えたこと」と題して子供達から素晴らしい感想文をいただきましたので紹介します。

- 楽陽荘では皆が協力し合って生きているのが「すごい。」と思いました。福祉体験のお年寄り役になったときに「重いおもりをつけた時みたいに将来になったらこわいなー」と思っていました。ただお年寄りの皆さんは一生懸命笑って生きているので「私も皆さんみたいに一生懸命生きていこう」と思いました。
- 最初「寂しそうな人が多いのかな？」と行って見るとみんな笑顔だったので私もうれしく心が温まりました。
- お年寄りの方々は本当に楽しんでくれてるかな？と不安になりましたが合唱の時に「うん。うん。」とうなずいて聞いてくれたり、あく手をした時に手を「ギュッ」とにぎってうれしそうに笑ってくれた時は「ああ、良かったなあ。」と思えました。



<餅つき>

一年の締めくくり、新しい年を迎える準備としてお餅つきをしました。お年寄りの皆さんの「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声に合わせて粘りのあるとっても柔らかいお餅ができあがりしました。最後に春に摘んで準備していたよもぎ餅もつきました。よもぎときな粉の香りに誘われて皆さんたくさん食べました。今年も元気にお餅つきに参加できた、お年寄りの皆さんと共に拍手をして喜び合いました。

<お正月飾り>

NOSA I 香川三豊女性の会から手づくりの華やかなお正月飾りをいただきました。会員の皆さんが講師の先生の指導のもと作ってくれたそうです。代表の方達のお父さんやお母さんが以前楽陽荘を利用されており、懐かしくその時のお話をさせていただきました。



<編集後記>

平成29年もあっという間に過ぎ去りお年寄りも元気に新年を迎えられました。この冬もお年寄りが体調を崩されないよう手洗い・うがい・換気などに気をつけ万全の対策をとっております。旧年中のご厚情に感謝するとともに今年も宜しくお願い申し上げます。

新聞担当：岸上・鈴木・宮崎